

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- ▶ 水稻・さつまいも・園芸作物が主体の山間農業地域
- ▶ 担い手の一層の経営発展と水稻などの生産安定に向け、生産体制を強化する必要がある地区

【支援内容・背景】

- ▶ 担い手への農地集積に伴う経営面積の増加に対応した機械及び施設の導入に対する支援策が必要。
- ▶ 助成対象者は水稻を中心とした複合経営を営む者であり、経営面積の拡大を志向。
このため、地域の課題の解消に資する取組及び複合経営のモデルとして規模拡大に必要な機械導入を支援。



助成対象者「A氏」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- ▶ 平成30年 就農
- ▶ 平成30年 経営移譲
- ▶ 令和5年 経営改善計画の認定
- ▶ 令和6年 経営面積を23.7haに拡大

《事業活用の背景》

- 担い手の経営面積の拡大による経営発展のためには、作業効率の向上が必要。
- 地域の担い手である当経営体の経営面積の拡大に向け、耕起作業の効率化や適期作業に必要な高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】

<R4年度>

- 売上高 11百万円
- 水稻 3.2ha
- そば 3.2ha
- タカナ 1.9ha
- ミシマサイコ 0.2ha

《事業による整備内容》

- トラクター 1台
事業費 5,600千円
(国費 1,680千円)



【現在の経営状況】

<R6年度>

- | | | |
|----------|-------|--------|
| ○ 売上高 | 22百万円 | (200%) |
| ○ 水稻 | 4.5ha | (141%) |
| ○ そば | 13ha | (406%) |
| ○ タカナ | 6ha | (316%) |
| ○ ミシマサイコ | 0.2ha | |

事業の効果

- 《対象者》 耕起を始めとする作業の効率化や適期作業の実施により、経営面積が拡大するとともに、生産量の増大や高品質生産が可能となり、売上高が増加。
- 《地区》 経営面積の拡大や生産の安定化による複合経営の担い手モデルが確立。